



学校が再開して、たくさんの方が図書室に来てくれるのでうれしいです。
本のリクエストや感想のほか、今日あったことなどおしゃべりも大歓迎なので、どんどん話しかけてくださいね。

☆ イチオシ 新着図書

● 珍獣ドクターのドタバタ診察日記 (田向健一 著 ポプラ社)

この本を書いた獣医の田向先生は、イヌやネコはもちろん、カエルやアリのクイなど、どんな動物でも一生懸命治療してくれる「珍獣ドクター」です。今までに診察した動物の種類は100種類以上！そんな田向先生が、おどろきのオリジナル手術の話や、今まで飼育や治療を通じていろんな動物と触れ合ってきた考えたことなど、たくさんのエピソードを教えてください。

● 飛ぶための百歩 (ジュゼッペ・フェスタ 作 岩崎書店)

先月掲載した課題図書のうちの一冊です。主人公のルーチョは、山を愛する盲目の少年。ともに山歩きを楽しむベアおばさんと、アルプス山脈の山小屋「百歩」へやってきました。山小屋の主人にすすめられ、ルーチョたちはワシの巣が見える峡谷へ行くことになりました。ところがそのころ、ワシの密猟者も山に入っていたのです。

この2冊など、5、6月にはあわせて18冊の新着図書がありました。

☆ 7月のピックアップ

● せんたくかあちゃん (さとう わきこ 作 福音館書店)

洗濯せんたくが大好き大得意だいす だいとくいなかあちゃんが、今日もはりきって洗濯せんたくをしていると、なんと空そらからかみなりさまが降ふってきて…。今の季節きせつにぴったりの絵本えほんです。

● 妖怪アパートの幽雅な日常 (香月日輪 著 講談社)

入る予定よていだった高校こうこうの寮りょうが火事かじで焼けてしまった夕士ゆうしがなんとか見つけたアパートは、オバケも幽霊ゆうれいも出放題でほうだいの「妖怪アパート」だった！シリーズは夕士ゆうしの高校三年間えがを描いた全 10巻かん。クセのある人間にんげんや妖怪ようかいが入り乱れる非日常い みだ ひにちじょうの中に、人生じんせいを温あたたかく見つめるまなざしが光ひかります。

☆ 棚や机を移動しています

図書室いっぶがもっと使いやすくなるように、一部の本棚ほんだなや机を移動しています。カウンターひだりおくに向かって左奥つうろへの通路ひろが20センチほど広くなりました。慣なれている幅はばと違うので最初さいしよはびっくりするかもしれませんが、新あたしいコーナーもつくる予定なので、楽しみにしてください。

☆次号じごうでは、あたらしいコーナーのご紹介しょうかいをします。